

陸・海・空 崩れた避難計画

原発周辺で孤立線量データー欠測



能登半島地震

1面から続く

能登半島地震が起きた

元日、石川県の北陸電力

志賀原発は1、2号機と

も運転停止中だった。地

震によって避難や屋内退

避が必要になる事態は起

きなかった。原発から北

に10キロほどの地域に住む

男性(70)は「自宅が壊

れ、原発のことまで考え

る余裕がない。何ともな

くて良かった」。

だが、もし地震や津波が内閣府によると、県が116カ所のうち18カ所

でデーターが欠測した。県の計画は、「状況に

法を通じて対応すべきだとの考えだ。だが今回の地震では海

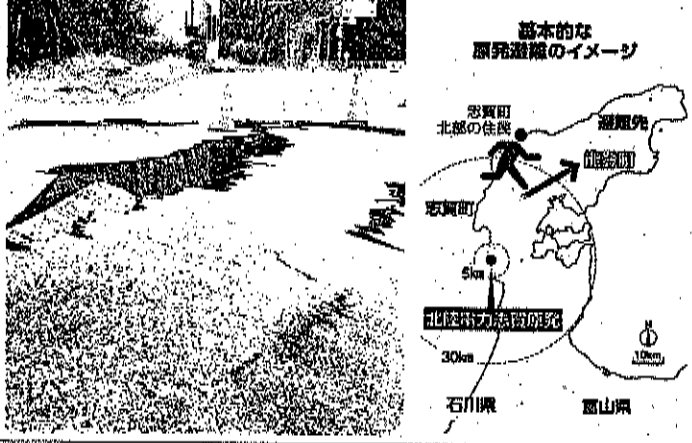
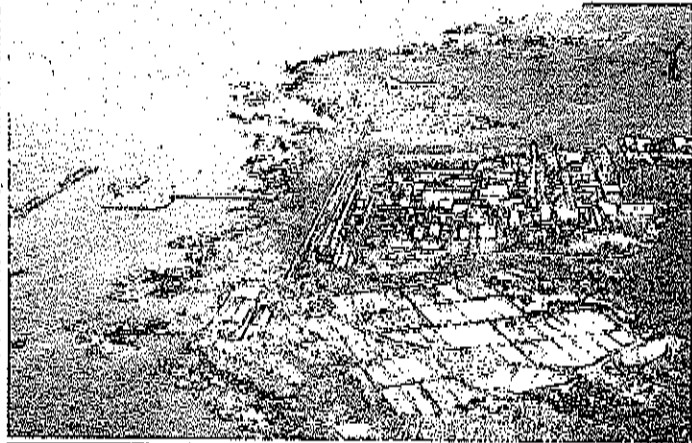
再稼働に向けて検討の途上

原発事故時の住民の避難や屋内退避について定

能登半島での道路の寸断や建物の倒壊で住民

全閣僚らでつくる原子力防災会議(議長・岸田文

再稼働に向けて規制委が審査中の志賀原発につ



たが、今の避難計画では不十分という指摘がな

立地地域の脆弱性 向き合うことが重要

北陸電力志賀原発1号機。1月11日、石川新聞が本社へりから、福田雄太郎撮影

志賀原発の北に約10キロの距離にある。片側が壊れて、通行できなくなっていた1月5日、石川新聞が、佐々木隆徳撮影